2024年度春学期　一般日本語（University-wide Japanese, UJ）プログラム実施要項

言語教育センター日本語教育部門では、名古屋大学の留学生等を対象に日本語プログラムを実施します。

１．開講期間

４月10日（水）～８月５日（月）　15週間

２．受講資格

名古屋大学の留学生（学部生・大学院生・研究生等）、外国人研究員・教職員。受講には、機構アカウント（THERSアカウント）が必要です。（受講希望者は決められた期間に受講申込手続きを行ってください。）

３．申し込み

・受付期間：３月22日（金）午前10時～４月１日（月）午前10時

・受付方法：こちらのwebサイトから登録してください（http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/zengaku/）。外国人研究員・教職員で受講を希望する方は、「受講承諾書」を３月29日（金）までにこのアドレス（uwjp-reg@iee.nagoya-u.ac.jp）に提出してください。その際、受け入れ教員（あるいは上長）のサインが必要です。留学生の方は、プログラム開始後に「受講承諾書」について連絡します。

※セルフスタディ漢字（SSK）、またはセルフスタディ読解・作文（SSR710）のみを受講する人は「受講承諾書」を提出する必要はありません。

４．プレイスメントテスト（初級・中級レベルのみ）　※登録者には４月２日（火）に連絡します

・実施日時：４月３日（水）16：00～18：00、４月４日（木）16：00～18：00

・実施場所：４月３日（水）国際棟（言語教育センター）207教室

４月４日（木）全学教育棟SISラボ

・結果発表：４月８日（月）13:00　言語教育センター日本語教育部門webサイト

◇次に該当する者は必ずプレイスメントテストを受けること。

（１）はじめて一般日本語プログラム（初級Ⅱ以上）を受講する者。

（２）前の学期に修了の認定（試験）を受けなかった者で、ひとつ上のクラスを受講したい者。

◇次に該当する者はプレイスメントテストを受ける必要はない。

（１）初級Ⅰ（UJ100）を受講する者。（「ひらがな」「カタカナ」の学習から始めたい者）

（２）過去１年間に全学日本語プログラムを受講し、修了と認められた者（ひとつ上のレベルを受講できる）

（３）日本語能力試験（JLPT）のN5～N1に合格している者（N5は初級Ⅱ、N4は初中級、N3は中級Ⅱ、N2とN1は上級コースにテストなしで参加可能）。

５．内容

→次ページを参照。

６．問い合わせ先：

学生交流課または言語教育センター日本語教育部門俵山准教授（uwjp-reg@iee.nagoya-u.ac.jp）

７．注意事項

・申込期間中に必ず受講手続きを終えること。

・諸事情により、実施要項が変更される場合があります。

2024年度春学期　一般日本語（University-wide Japanese, UJ）プログラムの内容

初級レベル

コース・クラス	授業概要
初級Ⅰ UJ100	週３コマ。初級前期レベル。ひらがな・かたかな、簡単な自己紹介、身近な場所・交通手段についてのやり取りになどついて学ぶ。教材は『まるごと　日本のことばと文化　入門　りかい』(三修社)。
初級Ⅱ UJ200	週３コマ。初級中期レベル。家族や仕事についてのやり取り、住んでいる町の案内、E メールへの比較的簡単な返信などについて学ぶ。教材は『まるごと　日本のことばと文化　初級１　りかい』(三修社)。
初級Ⅲ UJ300	週３コマ。初級後期レベル。家電製品購入の相談、食事や旅行についてのやり取り、自国の有名なイベントについての説明などについて学ぶ。教材は『まるごと　日本のことばと文化　初級２　りかい』(三修社)。漢字Ⅰとの同時履修を勧める。
初中級 UJ400	週３コマ。初級終了レベル。友だちを外出にさそう／うけること、自分の食生活について話すこと、空港でアナウンスがわからないときにほかの人に聞く／答えることなどについて学ぶ。教材は『まるごと　日本のことばと文化　初中級』(三修社)。漢字Ⅱとの同時履修を勧める。
漢字Ⅰ UJK1	週１コマ。非漢字圏出身の学習者向け。漢字の知識がゼロまたはそれに近い学生対象。基本的な漢字 150 字を学ぶ。また、漢字を含んだ短い文章を読んで、それについて話したり書いたりする。教材は『漢字たまご　初級』(凡人社)。初級文法（疑問詞、形容詞、あります／います、動詞のテ形など）を既に学んだ者のみ受講可能。初級Ⅲとの同時履修を勧める。
漢字Ⅱ UJK2	週１コマ。非漢字圏出身の学習者向け。既に漢字を 150 字知っている学生対象。基本的な漢字 150 字の知識をベースに、さらに漢字 150 字を学ぶ。また、漢字を含んだ短い文章を読んで、それについて話したり書いたりする。教材は『漢字たまご　初中級』（凡人社)。JLPT の N5 と同等レベルの文法・語彙の知識がある者のみ受講可能。初中級コースとの同時履修を勧める。
セルフスタディ 漢字 SSK	既に漢字を学習した人が復習するためのクラス。Web 上で好きな時間に受講できる。漢字 100 字の復習コース、漢字 300 字の復習コース、漢字 1000 字の復習コースから選択できる。漢字の読み・意味・使い方を問う問題で構成されている。

中級レベル

※各レベルの５科目の中から、必要なものを選んで受講してください。

コース・クラス	授業概要
中級Ⅰ UJ501-505	中級前半レベル。読解・聴解・作文・会話・文法がそれぞれ週１コマ。下記は内容例。 文法（501）：N3 レベルの文法・文型。 作文（502）：日常的な事柄に関する短い報告文を書く。 会話（503）：興味のある話題について意見を述べる。

	読解（504）：簡潔に書かれた短い新聞記事から要点を探す。 聴解（505）：身近な話題に関するニュースの要点を聞き取る・
中級Ⅱ UJ601-605	中級後半レベル。読解・聴解・作文・会話・文法がそれぞれ週 1 コマ。下記は内容例。 文法（601）：N2 レベルの文法・文型。 作文（602）：根拠を提示しながらある視点に賛成あるいは反対の意見を書く。 会話（603）：身近な話題について議論する。 読解（604）：社会問題について書かれた資料から筆者の意見を読み取る。 聴解（605）：身近な話題に関する講義を理解する。
セルフスタディ漢字 SSK	既に漢字を学習した人が復習するためのクラス。Web 上で好きな時間に受講できる。基本漢字 100 字の習得を目指すコース、漢字 300 字の習得を目指すコース、漢字 1000 字の習得を目指すコースを選択できる。漢字の読みや意味・使い方を問う問題で構成されている。
就職日本語（英語） BJE	週 1 コマ。就職活動や就業に役立つ日本語表現や関連知識を学ぶ。

上級レベル

※日本語能力試験 N1・N2 合格者を対象としたコースです。必要なものを選んで受講してください。

コース・クラス	授業概要
上級 UJ701-705	上級レベル。読解・聴解・作文・会話・文法がそれぞれ週 1 コマ。下記は内容例。 文法（701）：N1 レベルの文法・文型。 作文（702）：論理的に議論を展開しながらレポートを書く。 会話（703）：わかりやく体系的なプレゼンテーションを行う。 読解（704）：目的や文章の種類にあわせて読み方を変えながら文章を読む。 聴解（705）：学問的・社会的話題の講義・講演を理解する。
入門講義 IL801-804	「日本文学」「日本語コミュニケーション論」「日本古典」「多文化共生論」がそれぞれ週 1 コマ。やさしい日本語による、専門分野についての授業である。春学期（Ⅱ）と秋学期（Ⅰ）は授業内容が異なる。各授業の目的は以下の通り。 日本文学（801）：文学史を知り、小説等の講読を通して、表現や作品の背景について考える。 日本語コミュニケーション論（802）：日本語の言語表現の特徴とコミュニケーション・スタイルを理解する。 日本古典（803）：古典文学作品の購読を通して、表現や作品の背景について考える。 多文化共生論（804）：多文化共生社会の形成に関する課題について考えを深める。
レポートのための文法 GAW	週 1 コマ。明確な構成の日本語の論述文を書くための文法・表現を学ぶ。
就職日本語（日	週 1 コマ。就職活動や就業に役立つ日本語表現や関連知識を学ぶ。

本語） BJJ	
セルフスタディ 読解・作文 SSR710	Web 上で好きな時間に受講できる。読解・作文能力を高めることを目標にして、1 回 600 字程度の読解文と問題が出題される。受講者は文章を読み、語句や漢字の確認、意味理解を問う問題に答える。また、問題文に関連した作文（400 字）を書く。作文は、文の首尾一貫性、文法、語句・表現などの観点から添削される。